

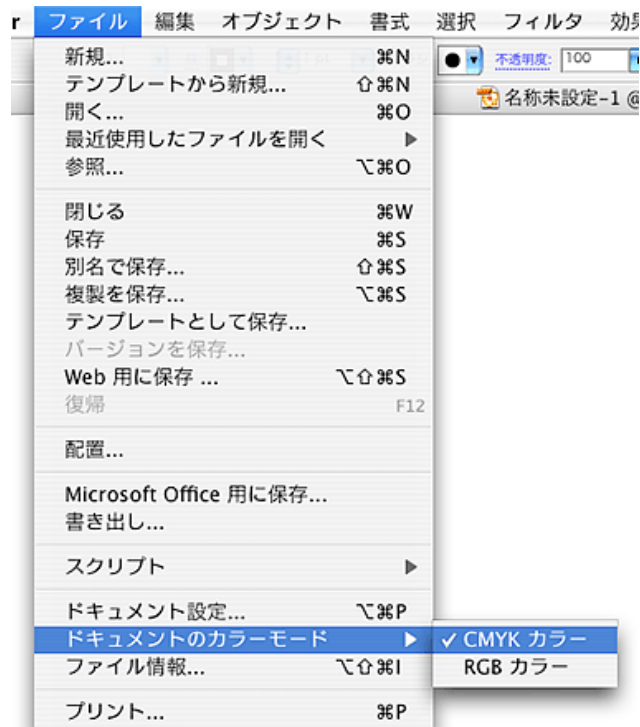
カラーモードについて

✓ Check!

※データは必ず **CMYKモード** で作成してください。

入稿データがRGBカラーであった場合、自動的にCMYKに変換するため、その際に元の色から変化する恐れがあります。

● CMYKモードの設定方法



[ファイル]→[ドキュメントのカラーモード]→[CMYKカラー]を選択することでカラーモードをCMYKに変更する事が可能です。

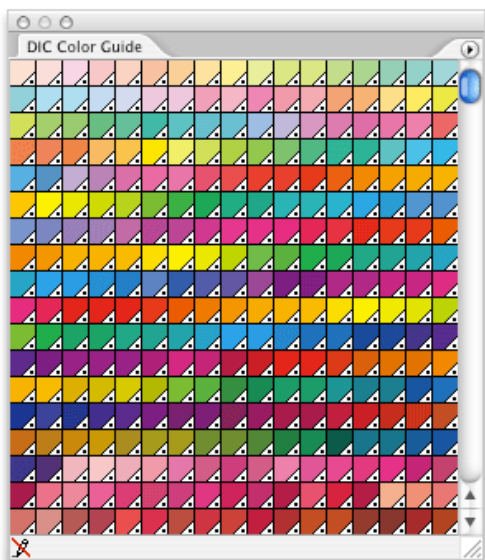
名称未設定-1 @ 91% (CMYK/プレビュー)

CMYKと表示されていればOKです。

DIC(特色)からCMYKへの変換

印刷に使用するインキには、CMYK4色を掛け合わせて使う「プロセスインキ」とあらかじめ色を調合している「特色」の2種類があります。

Illustratorでオブジェクトに色を付ける際、カラーをCMYKの数値で指定するほかに、[スウォッチライブラリ]-[DICカラーガイド](下図)などのスウォッチパレットから選択する方法があります。



「DICカラー」はDICが製造する「特色」のインキです。
「特色」のカラーには、右下の隅に 特色マーク (▲) が付いています。

スウォッチパレットからカラーを選ぶとイメージしやすいという利点がありますが、弊社のオフセット印刷は「プロセスインキ」による「プロセスカラー」印刷ですので、DICなどの「特色」はご利用いただけません。

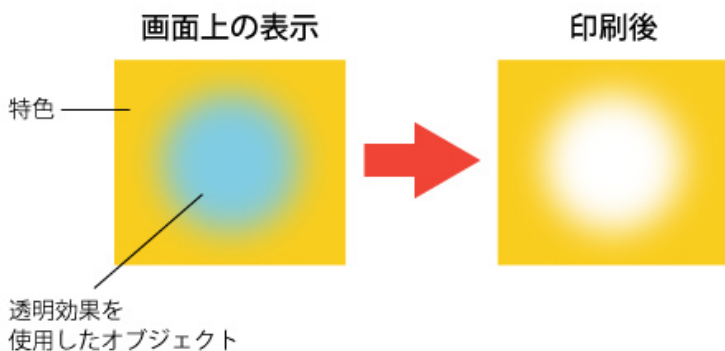
したがって、データ入稿時には、「特色」を「プロセスカラー」に変換していただく必要があります。

(※単色刷りや金銀蛍光色、コーポレートカラーなど デザイン上、指定の「特色」による印刷が必要な場合は、別途お見積りとなりますので、事前にお問合せください。)

特色が使用されているデータをご入稿された場合

- ・弊社で全てCMYKでの近似色に置換して出力されます。
- ・「CMYKの近似色へ置換」する際は、CMYKで表現できる範囲内で置き換わりますので、色が大幅に変わってしまう場合があります。置換された色の変化については弊社では確認いたしません。
- ・出力時に、特色部分が抜けて何も印刷されない、透明効果がなくなる、特色と重なるオブジェクトが印刷されない、などのトラブルが発生するおそれがあります。

<トラブルの事例>

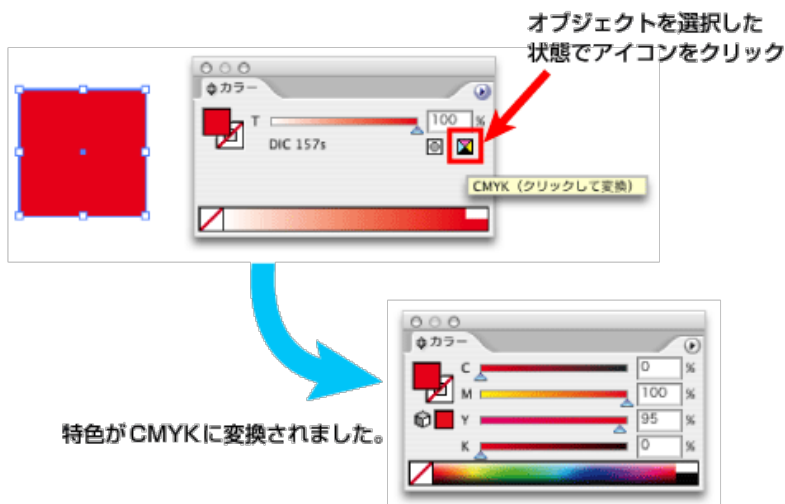


特色の上に透明効果を使用したオブジェクトを重ねると、出力の際にその部分が白く抜け落ちる可能性があります。

● 特色からCMYKに変換

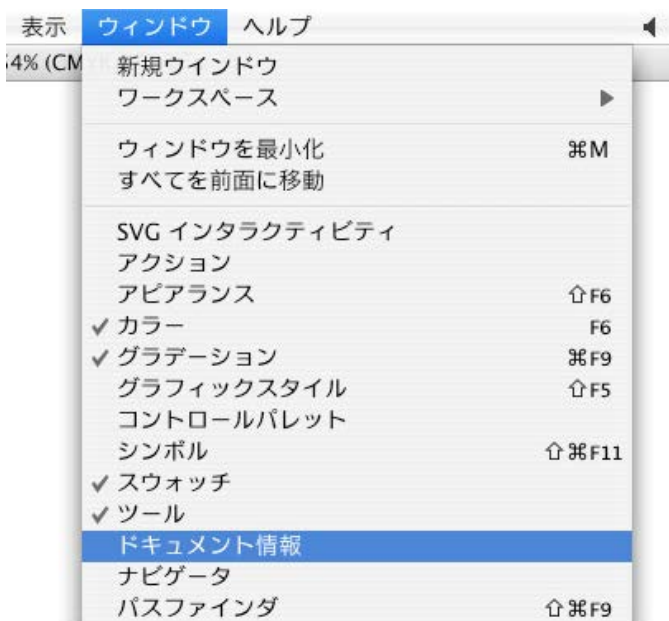
特色を使ったオブジェクトを選択し、[カラー]ウィンドウのCMYK4色表したアイコンをクリックするとCMYKに変換されます。

あくまでも特色なので、全く同じ色に分解される訳ではありませんが、4色の近似色に分解されます。



データ内に特色が使われていないかをチェックする方法

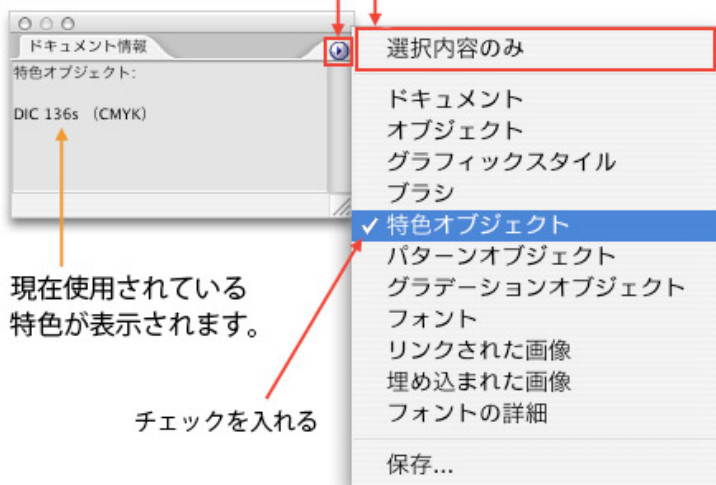
データ内に特色が使われていないか確認するには、「ウィンドウ(ファイル)」→「ドキュメント情報(書類情報)」を開き、オプションの「選択内容のみ」のチェックを外し、「特色オブジェクト(スポットカラーオブジェクト)」項目にチェックを入れます。



「ウィンドウ」メニューから「ドキュメント情報」を選択

クリックで右側のメニューを表示

チェックを外す

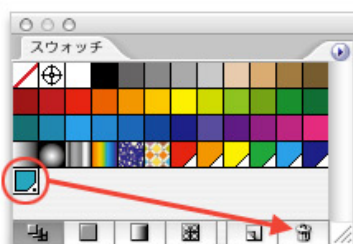
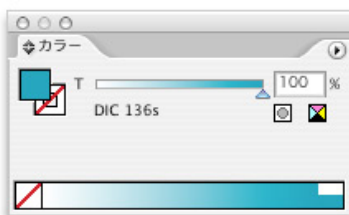


現在使用されている
特色が表示されます。

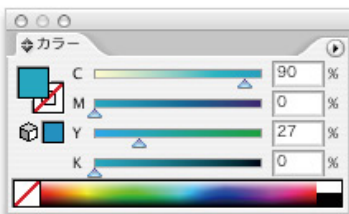
チェックを入れる

特色が使用されていた場合、「スウォッチパレット」に表示されている特色マーク(

△)がついたカラーを捨てれば、使用している特色は自動的にCMYKの近似色へ置換されます。



特色マーク(△)のついた色を
ゴミ箱へドラッグして捨てる



特色を使用したオブジェクトの色が
自動的にCMYKに変換されます。

または、何もオブジェクトが選択されていない状態で、「スウォッチパレット」上で特色をダブルクリックし、「スウォッチオプション」でカラータイプを「プロセスカラー」に、カラーモードを「CMYK」にご変更ください。

